



【学校教育目標】

自ら考え、判断し、よりよく生きようとする力の育成

今年から、40℃を超える日を「酷暑日」と呼ぶようになりました。実際そんな日はどのくらいあるのだろうかと思っていましたが、この夏「酷暑日」を記録したのは、全国で10日延べ36地点(9/6現在)と過去最高となりました。熱中症対策が常態化している昨今です。加えて、熊本や千葉等被災地では、この暑さが災害の復旧を妨げています。被災された方々にお見舞いを申しあげますとともに、一日も早い復興を願うばかりです。

2学期を迎えて―「命を守る備え」と「自ら成長する力」―

2学期がスタートして約3週間が経ちました。先月26日の始業式で見た生徒たちの表情には、この「熱い」夏を乗り越えたたくましさや溢れており、大変頼もしく感じました。

行事や学習など、学校生活が本格化するこの時期にあたり、始業式で生徒たちには次の「2つの大切なこと」を伝えました。

**1. 危機管理について ―「日ごろの備え」と命を守る判断力―**

この夏、日本各地で大きな災害がありました。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。よく言われる「日ごろの備え」ですが、本当に必要な備えとは、非常時においても「命を守るために最善は何か」を冷静に判断し、行動できる力を身につけることです。ニュースの出来事を他人事と捉えず、「もし今、ここで起きたら……」と自分事として具体的にイメージすること。そして、ご家庭や周りの人と共通理解を図っておくこと。こうした日頃からの意識と話し合いこそが、いざという時に自分や大切な人の命を守る、本当の「備え」となります。

2. 「俯瞰（ふかん）してみる癖」をつける ―自ら学び、成長する力―

2学期は「行事の学期」とも言われ、これから本格化する様々な体験活動や仲間との関わりを通して、大きな達成感を味わえる時期です。その中で生徒たちにぜひ意識してほしいのが「俯瞰してみる癖」をつけることです。「俯瞰する」とは、鳥のように高い場所から広い視野をもち、自分や周りの状況を客観的に捉えることです。わかりやすく言えば、心の中に「もう一人の自分」を置き、「今の自分の選択や振る舞いは本当に最適だろうか?」と問い直すことです。壁にぶつかった時や仲間と意見が分かれた時、ただ感情的になるのではなく、一步引いて「今、自分や周りにとって最善の振る舞いは何か」を考える。この「自己指導力」を、2学期のさまざまな場面で伸ばしていったほしいと願っています。

「危機管理」における判断力も、「俯瞰する力」による自己指導力も、変化の激しい現代社会を生き抜くために不可欠な力です。生徒たちが自分自身としっかり向き合い、よりよい選択を重ねながら大きく成長できるよう、教職員一丸となって支援してまいります。保護者・地域の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

校内教育支援センターが設置されました

今年度から、本校にも校内教育支援センター（通称SSR）が設置されています。このSSRは、教室に入りづらかったり、ずっと教室で過ごすことが難しかったりする生徒の居場所として設けられたものです。生徒の実態（思いや願い）に応じた多様な「選択肢」として、「自己決定・自己調整」を意識した教育活動を推進し、生徒のペースに合わせて相談に乗ったり、学習のサポートを行ったりしながら「生きる力を育む」「人つなげる」「自分を知る」「学び方を学ぶ」ことをめざします。



本校では、6月からSSR相談員として、松下幸雄さんが着任されています。他校の取組等を参考にしながら、本校独自のSSRを運営していきたいと思っています。

学校に行きにくい等お困りごとや相談がありましたら、お気軽に担当（教頭）までご連絡ください。

※SSR…「Special Support Room」の略

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果から

今年度の全国学力・学習状況調査（第3学年対象 4月実施）の結果が公表されました。今年度は、国語・数学・英語の教科に関する調査と生徒質問調査が実施されました。

各教科の調査では、どの教科の正答率もおおむね県平均並みかやや上回る結果であり、これまでの学習の積み上げが成果につながっているようでした。

一方、意識調査においては、昨年度に比べ基本的な生活習慣は改善傾向がみられるものの、ICTを活用した学習や対話を通して学習内容の理解を深めたりすることには課題がありました。また、各教科への興味・関心は高いとは言えず、学ぶ楽しさや分かる喜びを実感することが十分ではない様子も見られました。

結果を受け、改めて本校の授業改善について再検討をするとともに、課題解決につながる取組を進めたいと考えています。

体育祭に向けて

今年度は、「It's 笑 Time!～両色の熱をぶつけろ～」のスローガンの下、紅組と蒼組の2色に分かれ体育祭を行います。3年生は、夏休みから応援やデコレーションの準備に取り掛かり、最後の体育祭に向け、熱心に取り組んでいます。9月7日からは1・2年生も加わっての色別活動が始まり、一気に体育祭の熱を帯びてきました。生徒たちの趣向を凝らしたパフォーマンスと浜田東中の団結力をお見せできるものと思いますので、ぜひご期待ください。

【組分け】

蒼組 3-1、2-1、1-1
紅組 3-2、2-2、1-2

体育祭プログラムについては、すぐ一週間で配信します。
保護者席について、昨年度から一部変更していますので、ご理解ください。



夏に翔ける

この夏には県総体や吹奏楽コンクール等があり、本校の生徒も日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、堂々とした姿を見せてくれました。最後まで全力を出し切る姿と、それを支え応援する仲間たちの姿に大きな感動を覚えるとともに、入賞の有無にかかわらず大きな舞台は、生徒たちをひと回り大きく成長させる特別な場所となりました。

各種大会・コンクール結果 （敬称略）

○島根県中学校総合体育大会 陸上競技の部

・市原 1年女子800m 7位
・河野 全学年男子走高跳 2位 中国大会出場
・松本 全学年男子走幅跳 2位 中国大会出場
・小林 全学年男子400m 3位 中国大会出場
・小林 全学年男子200m 6位
・間 1年男子100m 4位
・石原・間・小林・沖田 1年男子4×100mR 3位
・黒川・梶谷・秋満・藤田 低学年女子4×100mR 4位
・山下・斎藤・福原・木村 低学年男子4×100mR 4位

○中国中学校陸上競技選手権大会

・河野 全学年男子走高跳 8位

○島根県中学校総合体育大会 ソフトテニスの部

【女子個人戦】

・藤本・久佐 ベスト16
・尾島・岡本 2回戦敗退
【女子団体】 ・ベスト8



○全日本吹奏楽コンクール島根県大会

【小編成の部】 金賞

○少年の主張浜田市大会

・吉本 優良賞



PTA奉仕作業

9月6日（日）には早朝から保護者・職員・生徒の約50名の皆様にお集まりいただき、PTA奉仕作業として校地内及び学校前の下府川の土手の除草作業、校庭の土入れ作業を行いました。当日は気温もさほど高くなく活動しやすい気候でしたが、皆様熱心に作業へ取り組んでくださり、汗を流しながら環境整備をしていただきました。

作業中は、時折笑い声が聞こえたり、互いに協力し合ったりしながら和気あいあいとした雰囲気の中に包まれ、保護者同士や職員とのよい交流の機会にもなったように思います。

9月19日（土）には、体育祭を予定しています。このきれいになった環境に感謝をしながら体育祭はもちろん、2学期の教育活動に取り組んでいきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。



ちょっとうれしい話

先日、地域の方からお電話をいただきました。その方は、「おそらく東中の生徒と思うが・・・」と前置きをされたのち、下府駅前の国道9号線で赤信号になって停車した際、横断歩道を渡り終えた生徒が振り返ってお辞儀をしてくれ感激した、とのことでした。普段からのふるまいがしっかりと身についていることに感心しておられました。